

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	レオ放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達障害や学習障害をもつ子供たちに対して個別のニーズに応じた支援計画を立てて対応をしている	特性の理解と個別の対応	視覚支援・拘りを拒否しない・あいまいな表現を避ける 活動を短時間で区切る・適度にからだをうごかす時間を入れる・注意をしないように先に予告する 結果よりプロセスを大切にする 特性に合わせるのではなく活かす
2	学校が終わったあとや長期休みの時安心して過ごせる居場所	環境を整える 安全面への配慮 決まったルール（予測可能性）	活動ゾーン。休息ゾーンに目的ごとに分ける 家具などの鋭角にクッションを張り安全の配慮 子供が困ったとき、このひとに言えばいいと思える大人がいる安心出来る存在
3	他児や支援員と関わりをとして対人関係スキルや集団活動などで社会性を育てる	イベント クッキング 季節の行事	餅つき、ひな祭り、クリスマスようにスなどの季節の行事を取り入れ楽しくスキンシップをとれるように行う クッキングをとおして 食育や食事のマナーを伝える イベントを通し地域との交流 いろんな人と触れ合う機会作る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム、情報提供の発信が少ない	保護者との信頼関係構築の難しさ 情報共有のギャップ 多様な家族背景の対応	限られた時間の中でコミュニケーションになるので短くても質の高い会話 職員間で情報を共有し一貫性を持った関わり 保護者交流会などの機会を作る
2			
3			